



平成 28 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング
(JASDAQ コード : 3350)
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久
電 話 (050-5835-0966)

平成27年9月期決算短信開示の遅延理由及び今後の決算短信開示に関するお知らせ

当社は、平成27年9月期決算短信を本日開示いたしましたが、当該開示が決算期末後50日を超えた理由及び今後の決算短信の開示について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 決算短信の開示が決算期末後50日を超えた理由

当社は、平成27年11月19日付「平成27年9月期決算短信」の開示遅延に関するお知らせのとおり、「当連結会計年度において急激な子会社の設立等により、経理管理担当職員の採用が遅れたこと、減損会計に関する方針等が確定していないこと」などから、同決算短信の開示が期末後50日を超える事態となりました。その後、12月4日付「当社持分法適用関連会社の株式会社フード・プラネットの第三者委員会設置に関する件に伴う当社平成27年9月期決算情報等の開示遅延に関するお知らせ」によりお知らせしましたとおり、当社持分法適用関連会社である株式会社フード・プラネットが設置した第三者委員会の調査が実施されたことを受け、当社会計監査人が監査手続きを継続していたため、さらに当社の平成27年9月期決算短信の開示が遅延いたしました。

2. 今後の決算短信の開示

当社は、平成28年1月29日付「飲食事業の譲渡に関するお知らせ」のとおり、連結子会社の株式会社レッド・プラネット・フーズを含む子会社12社が営む飲食事業を第三者に譲渡し、当社既存業務である音楽事業及びホテル事業の収益基盤の強化に努めるため、今後は急激な子会社の設立等は見込まれませんが、現経理管理担当者及び外部公認会計士の協力により経理管理体制の改善を行う予定です。また、減損会計に関する方針等につきましても、早い段階から、監査法人の監査手続きに協力いたします。当社グループ会社全体における、財務報告に係る内部統制の更なる強化に努め、今後の決算短信の開示については、決算期末後30日以内を目標に、遅くとも決算期末後45日以内に実施す

るよう取り組んでまいります。

株主の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なご迷惑、ご心配をお掛けいたしましたことを心からお詫び申し上げます。

以 上